

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和5年度研修

水害対応タイムライン

－ 適切なタイミングで躊躇なく行動 －

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

令和元年10月の東日本台風では7県で71河川140カ所の堤防が決壊し、また令和2年8月の停滞前線による豪雨では九州を中心に全国で約13,000haが浸水するなど、気候変動の影響により、人命や家屋等に甚大な被害をもたらす水害が頻繁に発生しています。

堤防等のインフラ整備による被害の最小化には相当の時間を要するため、国はこれまでのタイムライン（避難情報着目型）を見直し、雨量や河川の水位など流域全体で危機感を共有し、迅速な災害対応を促すことを狙い、水害発生を想定した河川流域全域の自治体などの対応を時系列で定めた「流域タイムライン」の全国の1級河川への導入を目指しています。これを踏まえ、自治体の行動計画（市町村タイムライン）を作成、又は既存の市町村タイムラインを修正することが求められています。

本研修は、国において流域タイムラインが標準化されるのを踏まえ、気象警報や避難情報等の活用と水害対応タイムライン（防災行動計画）の作成方法について修得し、タイムラインコーディネーターとなる人材を育成することを目的としています。

集合研修では、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

また、当該研修の講義をライブ研修として、リアルタイムでも配信いたします。
皆様のご参加をお待ちしています。

◎受講された方々の声

- ・水害対応タイムラインの作成から運用・振り返りまで、一連の流れを講義で知ることができ、理解が深まりました。
- ・実際に作成や運用経験のある方から、当時の様子や現場の声を聞ける貴重な機会になりました。

【研修期間】 令和5年11月29日(水)～12月1日(金) 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL: 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

※当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

※受講経費の助成制度がある道県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

集合研修は、〔北海道〕・青森・岩手・栃木・群馬・〔神奈川〕・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・〔大分〕・宮崎の19道県。ライブ研修は〔 〕を除く16県。

詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。